

## 引き返す勇氣

校長 山川 毅

人は、自分の趣味とか、好きなことをやっている方がいいに決まっています。ところが、1日24時間の内訳を考えると、どうも好きなことばかりとはいかないようです。1日は24時間。睡眠時間が8時間として起きている時間は16時間。ご飯や風呂やトイレの時間合計が2時間～3時間くらいとして、残り13～14時間。学校の授業は多い日で1日6時間。家での勉強を合わせれば、1日の起きている時間の約半分は勉強の時間です。この時間、どうせなら楽しく素敵に時間になりたいものです。今までできなかったことができるようになる時間、今まで知らなかったことと出会える時間。しかし、残念ながら勉強が嫌いな人は少なくありません。その理由の1つは、“授業がわからないから・・・”ではないでしょうか。

「忘れ物」をした経験がない人はいませんよね。例えば、朝登校時に学校の近くまで来てから、大事な提出物を忘れてしまったことに気が付いた時、どうしますか？遅刻を覚悟で引き返しますか？先生に叱られることを覚悟して、そのまま登校しますか？ある登山家の話を聞いたことがあります。本格的な登山は命懸けです。一歩間違えると遭難して、命を落としてしまいます。だからこそ用意周到に準備するそうですが、やはり、うっかりで登山口などに忘れ物をしてしまうことがあり、しばらく登ってから気付くことがあるそうです。そのような時、どうするか？登山家の方のお話によると、大事なもの（水や登山用具）であれば、取りに戻るしかないそうです。水がなければ命にかかわるし、凍った雪の急斜面をピッケルやアイゼンなしに登ることは不可能だからです。これは登山者にとっては大変な負担となるそうです。登る距離が確実に長くなるわけですから、体力的にも精神的にも、とても辛いそうです。

みなさんは、小学校、中学校と勉強を続けてきていますが、どうでしょうか？順調に1つ1つ理解できて、身に付いてきていますか？山登りに例えるなら、一步一步順調に登ることができていますか？時には、以前勉強した内容を忘れてしまい、今やっている勉強がわからなくなってしまう時があるのではないのでしょうか。そのような時はどうするか？結論から言うと、山登りと一緒に引き返すしかないのです。中3の勉強がわからなくなったら中2、中2の勉強がわからなくなったら中1、中1の勉強がわからなくなったら小学校の時の勉強をやり直すのです。勉強は積み重ねです。今いるところがわからなくなったら、1段でも2段でも階段を降りて、復習するしかないのです。ただし、これが1回だけならまだいいのですが、勉強というものは、こういうことが度々起こります。だから面倒くさいのです。しかし、その時、面倒くさがって戻らないでそのまま先に進むと、ますますわからなくなってしまうのです。山登りで例えるなら、脱水症状を起こして一歩も先に進めなくなったり、雪の壁にぶち当たって身動きできなくなってしまうのです。

登山家の方によると、忘れ物をして引き返すことは、悪いことではないそうです。引き返して登山距離が長くなる分、足腰が鍛えられ、心肺機能も向上して、体力が付くからだそうです。これと同じで、勉強も引返すとしんどいですが、その分理解が深まり、基礎学力がしっかりかたまるのです。中学校生活は、日々学習が続きます。時には、授業がわからなくなり迷子になってしまう場面もあるでしょう。そのような時には、「急がば回れ」の格言通り、勇氣をもって引き返して、力を付けていきましょう。

(4月13日朝会 校長講話より)

鑓水中学校グループ育てたい児童・生徒像  
「好きになれる～自分・仲間・学校・地域・挑戦～」



### 入学式



4月8日(水)第29回入学式を行いました。令和8年度の新入生61名が鑓中生としての第一歩を踏み出しました。

これからの中学校生活3年間で、「球根から芽を出し、茎をのばし、蕾を付け、花が咲く」ように、より一層の成長を期待しています。

### 鑓水中学校オープンガーデン

鑓水中学校地域協働本部・職場体験先等との交流



↑近隣の保育園の子どもたちや地域の方々に来ていただきました。

4月17日(金)第2回の鑓水中学校オープンガーデン(鑓水中学校地域協働本部主催)を行いました。今回も近隣の保育園の子どもたちや、高齢者デイサービスの利用者の方々、保護者・地域の方々等、たくさんの方に鑓水中学校の春のお花を楽しんでいただきました。

日頃より花壇を整備していただいている鑓水中学校地域協働本部の「やりみずガーデン」のみなさん、準備・片付け等ありがとうございました。

秋にも「鑓水中学校オープンガーデン」を予定(日程は未定)しています。

### キャリアカウンセリング 2・3年生 キャリア教育(自己理解)の充実



↑担任と目標について対話している様子

4月14～24日、2・3年生は学期始めのキャリアカウンセリングを行いました。「鑓水中学校で育んでいきたい非認知能力」から生徒自身が伸ばしたい「非認知能力」を選び、具体的な目標を設定しました。

キャリアカウンセリングでは、担任の先生と、その目標について適切かどうか、具体的にどのように行動するのか等を、対話を通して深めました。

鑓水中学校は「想像力」と「思いやり」



## 総合的な学習の時間「私って何色？自分を知る虹色ワークショップ」

### キャリア教育(自己理解)の充実



4月13日(月)講師に三浦佐知子先生(柚木武蔵野幼稚園特別支援コーディネーター)をお招きして「私って何色？自分を知る虹色ワークショップ」を全校生徒と教員と保護者・地域の方で行いました。まずはバースデーライン(誕生日ごとに集まる→誕生日が早い順に並び替える)を行い、学年・教員・保護者地域の方が「ごちゃ混ぜ」になり、話しやすい雰囲気を作りました。

何でも一番、正義の味方のレッド(赤)、繊細なきちんとさんのグリーン(緑)、心優しいあわてんぼうのオレンジ(橙色)等、自分の特徴を考えてハートに色を塗っていきました。

7色の色を通して自分の特徴を理解することができました。また近くの誕生日の人たちと「どうしてこの色にしたの？」等、対話することで周りの人を理解することもできました。

生徒の感想を紹介します。

- ♡自分の色は自分だけの大切なものだから、無理に周りの色に合わせてしようとしなくてもいいんだなと思った。
- ♡自分の性格をよりよく知ることができたと、どのようなことをして改善したらよいかも理解できたから、とても良かったし、楽しかった。学校生活や日常生活を楽しく過ごせるようにしたいと感じることができた。
- ♡自分の色を知ることによって、自分の知っている性格を再確認したり、知らない自分を知ることができる授業だと思った。

### こんなこともありました！Kさん(生徒)のハート♡

Kさんは、ハートに紫(甘えん坊の寂しがりや、大事な友達を傷つけちゃう)を塗って、あっという間に終了。

Kさん：「僕は友達に意地悪するから紫で塗りました。」 先生：「なぜ意地悪するの？」  
Kさん：「いじって笑いをとる感じ。」 先生：「『楽しませたい』という気持ちなんだね。黄色(人情家、人を笑わせるのが好き)も塗ったら。」

Kさんは「たしかに」と言って黄色も塗っていました。大人と対話することでKさんの自己理解が深まりました。